議事録

令和７年５月８日（木） 時間：14：00～14：35 場所：事務室２		園長	介護	事務	担当長
会議名	運営推進会議	司会	樋口	書記	大野
出席者	武山地区社会福祉協議会副会長　米山豊平氏　　西第二地域包括支援センター　角井大介氏 聖隷看護小規模多機能横須賀管理者　樋口範子　聖隷訪問看護ステーション横須賀　大野恵				
欠席者	横須賀愛光園園長　髙橋等				
議　題	Ⅰ．運営状況報告				
	Ⅱ．活動報告				
	Ⅲ．				
	Ⅳ．				
次回検討課題　　（次回　　7月　10日（水）　　14:00～15：00　　）					

検討内容及び決定事項	
Ⅰ.運営状況報告	要介護状況が二極化している。曜日によって介護度が重い時があり、昼食時の食介が重なってしまうときがある。また、介護度の低い方はコミュニケーションやレク目的での利用を希望し、介護度の高い方はケア利用を目的としている傾向がある。 4月は新規一件。パーキンソン病で要介護5の方。 5月は新規一件。認知症で要介護1の方。 訪問看護の件数が４月に大幅に上昇している。理由として、元々訪問看護で 6 回/週訪問していた方の看多機利用が始まったためと考えられる。 泊まりを利用する方が増えたので、処置用のベッドが空かないという問題が出てきている。シーツを交換する、ケアの時間や間隔を整えるなどして今のところは対応している。
Ⅱ.活動報告	6 月予定の防災訓練は、地域の方に声掛けをして、参加を促していきたい。看護小規模多機能型施設は住宅街の中で地域に根差して小規模で運営することが多く、そういった面で地域の方との交流が必須ではあったが、聖隷の場合は、従来あった大規模な施設の中で運営されているので、地域の方の参加は難しいのではないかという意見もある。 （米山氏より） 地域の方、というのは住人だけではなく、消防団や民生委員なども含まれている。まずは地域の消防団に「こんな利用者が利用しているよ」「避難経路はこうですよ」などの情報を知っておいていただくことも大切なのでは。何か手伝えることがあるかもしれません。

	レクリエーションを実施。3 月から 4 月にかけてひな祭りと花見を行った。 普段は部屋から出てこない方にも声をかけ、活動に参加していただいた。笑顔もみられ、ご家族も喜んでおられた。 介護看護連携 毎日の創処置が必要な方が 3 人いる。看護師だけでなく、介護士にも指導をして連携して対応している。 また、急に具合が悪くなった方に対して、午後の介護士の訪問を看護師に変更し、医師に連絡して迅速に対応できたという事があった。